

2010・2011年度教研究テーマ

イエスの生き方に倣う
キリスト教学校
—これからの同盟100年に向けて—

キリスト教学校教育 12

http://www.k-doumei.or.jp/ E-mail info@k-doumei.or.jp

キリスト教学校教育同盟
〒169-8509 東京都新宿区
西早稲田2-3-18-72
電話 03(3203)0361
FAX 03(3203)0362
理事長 野本 真也
編集人 鈴木 齊
頒価200円(加盟法人の購読
料は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)

「イエスの降誕」

日本聾話学校小学部3年 木村亮介

100周年記念式典・シンポジウム立教大学で開催される

教育同盟100周年記念式典およびシンポジウムが11月23日(火・祝、東京・池袋の立教大学ツーカーホールで開催され、97加盟法人中より96法人の関係者、招待者、関連団体・業者等約580人が参加した。

小林恵子氏(フリーアナウンサー)の総司会のもと、午前10時30分より寺岡喜基常任理事(西長)の式辞、辻本理事(南学院院長)の司式により記念式典を開始。崎山



野本理事長の式辞

「早稲田大学前総長、日本キリスト教協議会副議長ジョージ・ギンシュ氏、日本カトリック学校連合会理事長・河合恒男氏(サレジオ学院理事・理事会開催される)

教育同盟および維持財団常任理事、維持財団評議員会、同盟および財団理事会、記念式典の前日である11月22日(月)に立教大学会議室で開催された。

加盟校動静

敬和学園
敬和学園大学が創立20周年を迎え、10月30日

「その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていました。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた」(ルカによる福音書2:8-9)

クリスマスが近づきつつある今、まさに各学校ではクリスマスの準備の時を迎えていることでしょう。私たち静岡英和学院大学においても只中にある「学内をクリスマス」の喜びの光で満たすことを目標に今年度は「クリスマス・プロジェクト2010」を組織し準備しています。少しその内容を紹介します。まず、10月からクリスマス・カードコンテストを学内で先行し、集まったカード(応募250件)からクリスマス委員の先生方が審査し最優秀賞・優秀賞を選びます。最優秀賞のカードは今年の大学のクリスマスカードになります。今年の大学クリスマスは12月22日に行なわれます。

(上)午後2時より、記念式典が、午後3時30分より記念講演が、午後4時40分より記念祝賀会が、それぞれパーム館(体育館)で開催された。

石原(寛氏) (ルーテル学院理事長)

10月26日逝去、80歳。告別式は11月1日(月)12時30分より日本福音ルーテル東京教会で執り行われた。謹んで哀悼の意を表します。



12月号目次

▶100周年記念作文・エッセイコンテスト
最優秀賞各部門作品 <2~5面>
▶わが校のワンポイントアピール <2~5、7~8面>
▶報告と予定 <5面>
▶東北・北海道地区教研中高部会 <6面>
▶関西地区新人教師研修会 <6面>
▶公算 <6面>
▶ハイ!こちらQQ箱 <8面>

キリスト教教育とは何か。この問いに対する私たちの答えこそが、本学園の将来を方向づけるものであると私は信じています。21世紀を迎えて、学園の今後の発展は、キリスト教教育の目的に対する理解、そしてそのゴールに到達するまでの私たちの献身にかかっていると思います。

箴言3章3節には「恵みとまこととを捨ててはならない。それをあなたの首に結び、あなたの心の板に書きしるせ」(新改訳)と書かれています。訳によれば Love(愛)と Faithfulness(忠実)や Kindness(やさしさ)と Truth(真実)とされているものもあります。この箴言の著者のメッセジとは、恵みが生き生きとして、私たちが生きていく上で、私たちの二つの姿勢を絶えず覚え、神との深い関係を築くことではないかと私は思います。

21世紀のキリスト教教育への挑戦



ジム D. バットン

養つづけるバランスを保ち、みこころを注ぎ、という心で進めたい。ただこれは容易ではありません。多くは教義や信条への忠実さに偏り、優しさや思いやりを全く犠牲にしているか、あるいは曖昧

教育に開いてみたいと思ひます。

「教育」という言葉には、学び、教えることへの責任という意味合いが込められています。教職員として、私たちは個人レベルにおいて終わりのない学問的

がありすが、学生教師の学びに対する探求姿勢を真似て成長するのは思ひます。そして同僚・学生と関わる中で思いやりがなければ、私たちはたゞ研究者としての召しに忠実ではあっても、同じ目的をもつ仲間との連携において無残にも失敗し得るのです。

「クリスチャン」という言葉の意味には、キリストの価値観に基づき愛と奉仕の精神への専念が求められていると思います。ジョージ・ペパダインは、1937年に米国カリフォルニア州ロサンゼルスにペパダイン・カレッジ(現ペパダイン大学)を創設しました。開学のスピーチで彼は次のように述べています。「たとえ人類が見出し得る知識の全てを用いて、ある人の知力を向上させたとしても、心の教育が行われなければ危険な人物をつくりだすだけのものです」。

私たちは、知識の使い方を教えるための「心」を教育せずして、「頭」のみを教育することは決して行つてはなりません。キリスト教学校として、まず私たちは教職員の心にキリストの倫理観と姿勢を植え付け、それが学生たちに波及するよう教育を行いたいと思つています。そしてクリスチャン・ノンクリスチャンの枠を越えて、学園全体として、彼らの人生に必要な知識・手段を教えるのみならず、私たちの生きる世界をより良くするために、それらの知識・手段を使う「賢さ」を教えることに人生を捧げるべきだと考えるのです。

茨城キリスト教学校園総長

長、韓国基督教学校聯盟理事長白永哲氏(通訳・金恩愛氏)がそれぞれ祝辞を述べた。壇上野本理事長の祝辞、後奏の堂聖歌隊(指揮「スコット・ショウ」氏の合唱に続いて100周年記念のゴマクおよび作文・エッセイコンテスト記念賞の表彰式が行われた。

昼食をはさんで、午後1時40分より3時30分まで「キリスト教学校教育同盟の回顧と展望」と題してシンポジウムが行われ、野本真也氏の司会により、深町正信(クラーク学園理事長、青山学院名譽院長、元同盟理事長、山内一郎(前関西学院理事長、元同盟理事長、久世(明治学院学長、前同盟理事長)の各氏が登壇した。

100周年を迎え、同盟の歴史を振り返りながら、今後の同盟の使命を確認し、共有する時となった詳細は1月号掲載。

常任理事会・評議員会・理事会開催される

教育同盟および維持財団常任理事、維持財団評議員会、同盟および財団理事会、記念式典の前日である11月22日(月)に立教大学会議室で開催された。

聖書のことは

伊勢田奈緒

から、いったい、どんなクリスマスに光を放つことできるのでしょうか。約2000年前、ペテロとパウロが「まことの光」として誕生されたその晩も、貧しく社会から見放されたような世界にいた羊飼いたちは、次々に冷ややかな野原でいつものように羊を番をしていました。ところが、突然まぶしい光が

定めて午前中はクリスマス音楽礼拝、また午後6時からキャンドルサービスとクリスマス会を予定しています。ところで、今年最大の挑戦はイルミネーションです。昨年までは業者さんに頼んでイルミネーションを学内のイルミネーションを今年には学生たちの協力の下に、取り付けることになりました。静岡英和学院大学のある「日本平」

切りを照らしこへ現れた天使は、彼らは救い主の誕生を告げられたのです。誰よりも先に御子を礼拝した羊飼いたち。闇の中で生きることに、もがき苦しんでいた彼らの心に温かみを与えてくれた光が差し込んでいたこと。そして、私たちの罪を贖うために誕生された御子イエス。大なり小なり何らかの重荷を負った現代に生きる私達にも、神の光は生きた希望を、そんじょうと与えていくことか!教職員と学生たち共に迎えるクリスマス。イルミネーションの光と共に、最初クリスマスを行つた羊飼いたちのように、一人一人が「まことの光」の中に温かく包まれることを祈り、他方この年犯した罪を反省し、今年も神から頂いたこの恵みを数えながクリスマスの日を心待ちにしているところだ。

《静岡英和学院大学学教主任》

作文・エッセイコンテスト
最優秀賞作品

私達の家族

東京三育小学校6年 亀田友理佳

私の週間はいつも静かに始まる。月曜日の朝8時20分、礼拝堂に集合。讃美歌とお祈りの後、校長先生のお話を伺い、もう一度讃美歌とお祈り。40分ほどの短い時間だけれど、心が静かになるとても豊かな時間だ。

前年、毎年クリスマス会では、インス様誕生の劇を演じる。歌中心の劇は進む。マリアとヨセフの合唱。大天使ガブリエルの独唱。羊飼いの達のお祈り。インス様の誕生日にまつわる物語が目まぐるしく進んでいく。まるで

私の学が東京三育小学校は練馬区にある、一年生にクラスだけの六年生全体を通じて170名くらいのも小さいて、静けさ。

学校だ。三育では、「豊かな心と本物の知恵を健やかな体」をモットーに毎日20分、聖書の授業がある。2千年以上も昔

昨年のクリスマス会で、5年生だった私達はいすたんとでのNGO活動の劇を演じた。いすたんとでは、子供達が長い内戦

のことなのに、聖書の物語にはとても現実感がある。2千年前のイスラエルと今の日本では暮らした方が、人々が感

の一番の犠牲者になっている。誘かいされて兵士にされたり、暴行されたり、地雷を踏んで手足をなくしたり、難民になっ

じる悩みや迷いは全く変わ
 わらないからだ。皆が何
 を苦しんだか、そしてイ
 エス様がどのように皆を
 救ったか、救ったか、聖
 たり、スーダンの子供達
 は本当にかわいそうだ。
 そんな子供達を援助する
 ために、アドラ（ADOR
 A）は国連と協力してス

書のお話はとても身近に感じられる。「善きサマリヤ人」の話、「ペテロの否認」の話…、どれも私達の隣人の話だ。

ーダンですってNGO活動を行っている。私達はアドラの方々から現地での活動のお話を伺った。お話を伺っている間、涙

三育小学校の大きな行事は、クリスマス礼拝とクリスマス会だ。1・2 前のことに思っている私



久世了審査委員長による経過報告

キリスト教学校に

横浜英和女学院中学校1年

中田みずすず

横浜英和女学院での生活が始まって、今年で7年目。その中で、友達との出会い、先生方との出会いなど数え切れないほどのいろいろなものに出会ってきました。今まで私が出会った数え切れないものの中で、一番私に影響が大きかったものの。それが聖書、キリスト教との出会いです。



「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも大切にしたい言葉だ。」

中学生の部

キリスト教学校に
学んで

中田みすず

横浜英和女学院での生活が始まって、今年で7年目。その中で、友達と

の出会い、先生方との出に影響が大きかったもの。それが聖書、キリシ
会いなど数え切れないほの。それが聖書、キリシ
どいろいろな人、ものとト教との出会いです。

私は何度も聖書に、まづこれ拜でのお話に曇つてしまつた。例へば、苦学な科目で落ちれば、私では「なんで私はできないのか」とか、「ここにたつて、めいむをきかぬのだぞうなんだ」と自分奮めていたときなどです。そのような時に礼拝で、その間ほ二人一人、神がからかう愛されていて価値あるものであり、またたゞそれ導く長所がある、というふうに聞いて、本心に響いて、かく「私も価値ある人間であるのだから、その愛に応ずるために自分をしっかりと生かす

「していこう!」と思い、
勇気づけられました。礼
拝で聞くお話には他にも
学ぶことがたくさんあり
ました。今こゝであげた

もの以外にも、このような経験は何度もあります。ですから私は、そのようないろいろなことを教えてくれる聖書を心が

ら敬愛していますし、その聖書について毎日考へ、毎日学べる機会を与えて下さるこの横浜英和女学院を誇りに思っています。

また、キリスト教と出会ってから何に対しても「感謝する」ということが増え、それに伴って、い

つも神様がついていてくださるといふ「安心感」が心の中で生まれました。

礼拝でのお祈りには、たいてい「新しい朝を迎え
(3面へつづく)

わが校の
ワンポイント
アピール



創立時の偉大な宣教師たちの
教えを今に――

他者に心を寄せ、

香蘭女学校

転しましたが、戦時中は当局から厳しい取り締まりを受け、校長・教頭ら幾人もの教員が退職させられる忍従の日々を過ごしました。が、その頃も生徒たちは密かに聖歌を歌い、それまでと変わらず深い信仰の中にありました。

戦後は九品仏真淨寺の一棟を借りるなどしてしのぎ、1948年現在地へ戻りました。近年は、2008年度に創立120周年記念式典を駐日英国大使をお招きして行い、昨年9月には日本聖公会宣教150周年記念として英国カンタベリー大主教が来校し、生徒たちに心温まるメッセージをいただきました。

本校では毎朝、礼拝堂で全校生徒が一堂に会し礼拝を捧げています。そして、チャリティ・バザーや様々なボランティア活動等を通して、他者に心を寄せ、力を尽きたる女性であることに心指しています。また、SE（自己啓発）学習や数々の海外研修・国内校外活動等を通して、自ら積極的に学び、異文化理解を深め他者と共に歩むことを大切にしています。そして、品位

心の豊かさ・愛によって、利害ばかりを争める社会の風潮に敢えて抵抗し続ける学校であつて考えています。

聖書のコヘレトの言葉12章1節の次のことばを本校では常に心にためています。

「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えて」

田村浩

初代校長
今井寿道



ビカステス主教



初代校長
今井寿道



≡ス ソントン

大学—聖書の庭

一般の部

あじさい

山梨英和中学校・高等学校講師

入倉 文子

あじさいが咲き季節に 拝に遅れた。人気のない
なと思いつく出来事が 廊下に賛美歌の前奏が流
れてくる。そっと教室の
その日も私はクラスレ 後ろのドアを開けると
みんなが目を閉じ、静か

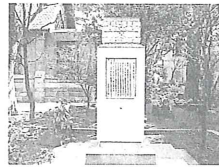
明治学院は全キャンパスのヴォーリス設計
の大チャペルの横に、卒業生が植えた記念樹
を交えた木立がある。その中に、台座を含め
る2メートルほどの高さの石碑が建っている。
正面に建立年を1937と西暦で刻んだ
この石碑には、明治学院校歌の作詞者、島崎
藤村がここに揮毫した校歌の全文を刻
んだ銅板がはめ込まれている。

1906(明治39)年、すでに詩人として
の地位を確立した後、散文に転じて名作『破
戒』を出したばかりの卒業生藤村に、学院
が校歌の作詞を依頼した。その年の内に、現
在も歌い継がれている校歌「人の世の」の作
詞作曲が成り、翌年には正式に制定された校
歌として対外的に披露されたのだ。

その歌詞、曲調ともにあまりに一般の所
謂校歌なるものと趣を異にした「優麗」なる
ものであったために、一方で異論が出た。
『明治学院同窓会百年』というこの校歌
には、新作当時在校生賀川豊彦が「この校
歌に神のことが一言もない」と批判したの

に黙憐していた。私は教
室の後ろに立ち、床にカ
バンを置いた。選考者は
自分の席に着くことを許
されず、立ったまま礼拝
を受けるのが決まりになっ
ていた。
私は選考の常習犯だっ
た。中々になつてまだ2
ヶ月ほどなのに、生徒手
帳には選考から押された
「遅刻」のはんこが10個
以上並んでいた。1年生
の頃はほとんど遅刻がな
かったのに、学校に慣れ
て気がゆるみ、生来のの

校歌碑

わが校の
ワンポイント
アピール校歌と校歌碑
明治学院

るが助長されての結果
だった。
礼拝が終わると、担任
のK子先生から職員室に
来るように言われた。私
は先生になかなかなじめ
なかつた。勉強に身が入
らず、先生から疎まれて
いると勝手に決めていた。
職員室の先生の机のと
ころに行き、私は言っ
た。
「遅刻が多すぎてすみま
せん。これから気をつけ
ます。」
に対して植村正久教授が「聖書にだって神の
ことが一言もない書がある」と言ったとい
うエピソードが伝えられている。ともかく、藤
村得意の五七調で学院の情景描写から「もろ
共」に導き導きおのがし道を開かむ・・・
・ああ行けたか、英雄しかれ、目さめよ起
てよ良なるなれと格調高く謳いあげた歌
詞は「一篇の詩として藤村の傑作のひとつ」
とも言われており、その背書に聖書、賛美歌
があることもまた誰の目にも明らかである。
この校歌は、学院の大切な財産として、今日
に至るまで百余年の間、学院学校において
歌い継がれて来ているのである。

久世 一

〈総会・研究会等〉

(※印は同盟HPより開催要項、参加申込書を取り出せます)

- 1/14・15 第53回小学校代表者研修会* 西南学院小学校
2/26 第8回キリスト教学校教育懇談会シンポジウム 上智大学

〈11月の委員会・会議等〉

- 11/13 広報QA執筆担当者会議 鎮西学院
14 第2回教研聖書科部会委員会 KKRホテル大阪
22 第5回同盟および維持財団常任理事会 立教大学
22 第2回維持財団評議員会 立教大学
22 第2回同盟および維持財団理事會 立教大学
30 第3回小学部会委員会 渋谷・バンダ

※その他の地区行事等は同盟ホームページの各地区協議会をご覧ください。

学園の過去・現在・未来

子どもアメリカ留学の経験から、国際人教育や英語教育に力を注ぎ、留学生の受入や派遣、外国人教員雇用を積極的に行ってきました。そうした学園の伝統を活かすため、2011年度には国際コミュニケーション科を開設する予定です。

★創立者の精神を伝えるキャンパス
旧幼稚園舎であるハイド記念館と教育会館（いづれもヴォーリス建築、1931年）は、国の登録文化財に指定されています。ハイド記念館は休日には一般公開をしており、創立者の業績を伝えるパネルや絵画が展示されています。

★これからの近江兄弟社学園
本学園では「連携教育」を教育の柱に据えております。学内の各校園の連携、高等学校と大学、地域や外部の各種団体との連携など、様々な形での連携を進めます。その連携教育を実践するための校舎「希望館」が、今年8月竣工しました。また、幼稚園と保育園を一体化した運営のために、「近江兄弟社こどもセンター」を組織しました。幼保一元化をはかり、親の就労に関係なく、こどもの保育にあたる「認定こども園」の設立に向けての取り組みを開始しています（2011年4月、滋賀県守山市にて「もりの風こども園」を開設予定）。

今後も創立者の精神を引き継ぎ、世界にはばたく近江兄弟社学園として、大きく発展させていきたいと願っています。

伊吹 章〈近江兄弟社学園広報部長〉

わが校の
ワンポイント
アピール

近江兄弟社学園

★近江兄弟社学園のはじまり

近江兄弟社学園は、アメリカ人、W.M.ヴォーリスが始めた事業体（建築・出版・伝道・製薬・医療・福祉・教育等）の一つです。「近江兄弟社」と名付けたのは、著名な福祉事業家である賀川豊彦です。夫人の一柳満喜子によって設立された清友園幼稚園および、ヴォーリスの有能な教え子である吉田悦蔵が始めた中等教育部門である、近江勤労女学校（1933年）と向上学園（1937年）が本学園のはじまりです。戦後男女共学の中学校、高等学校、小学校が開設され、1951年、学校法人近江兄弟社学園が誕生しました。

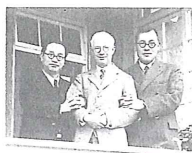
★近江兄弟社学園とは

イエス・キリストを模範とし、自己統制力のある自由人、独立自主の想像力に富む人、知性豊かな国際人を育成することを目的としております。

現在、高、中、小、幼、保で、2,200名を超える生徒・児童・園児が学び、300名を超える教職員が働いています。

★「平和の使者」「国際人」

W.M.ヴォーリスは、「神の国の建設」をめざし、幅広い分野の事業に携わり、地域のため日本のために大きく貢献しました。創立者の目指したものは、「平和の使者」となることであり、「真の国際人」が何であるかを身をもって示しました。夫人の満喜



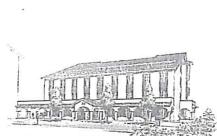
右から吉田・ヴォーリス・賀川



学園本館



教育館とハイド館



希望館

東北北海道地区

キリスト教教育の本質と課題(16)

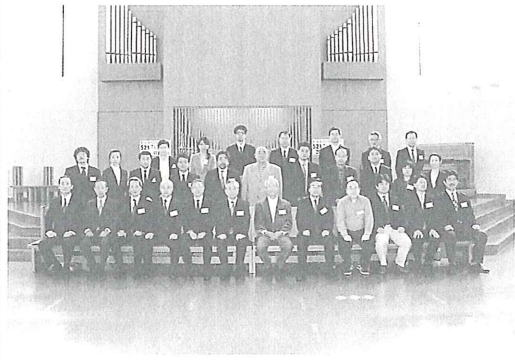
地区教育研究会中高部会

猛暑の影響が、紅葉を期待するには尚早であった10月21日から23日まで山形学院高等学校及び山形国際ホテルを会場に、2010年度東北・北海道地区教育研究会中高部会が開催(加盟校13校とオザバーとして盛岡大学附属高等学校、合計40余名)された。

松井浩樹氏による開会礼拝、星宮望氏(東北学院院長・大学長)からの地区代表挨拶に続き、学校報告が行われた。はじめに石垣雅子氏(弘前学院聖愛中学校・高等学校宗教主任)より「クリスマス行事への取り組み」と題して報告がなされた。在校生は勿論のこと、市民と卒業生も一緒に、市民と卒業生の喜びを分かち合った。市民会館を貸し切った大会がかなり行事を実施していることへの総括と、今後の課題が語られた。安彦元次氏(基督教独立学園高等学校教育部長)からは「学生会と人間教育」との報告がなされた。本気で語ること、本気で聞くことを重んじる人間教育が寮生活の中、特に「学生会」にて培

られた。教育問題検討部会」には20数名の参加があり、一人一言もつて時間がなくなったようにあるが、今後メンバーの細分化や、問題の更なる深化を目指す形での「イエスのアロー」であり「黙る、聞く、先回りしない」教育の必要性が指摘された。翌朝、生徒による律儀なまでの清々しい挨拶に驚きつつ、山形学院高等部での礼拝に合流(説教は石垣雅子氏が担当)した。学校見学後、主

平塚敬氏



「時代を切り拓くキリスト教教育」と題して平塚敬氏(立教大学理事、同部教員)が中心となり、その高さに驚きつつ、楽しんでいる。食後、西置島学園小学校の西置島陽子校長が、東北・北海道各地の話題は尽きないものであった。

山形へ帰ると、すぐに教育研究会にて、次年度の予定、役員改選(全員任期満了)も比較的短い任期であることにより全員の総決断について討議し、会場を移した懇親会では、各校一言メッセージと、和やかな集いとなった。

最終日、朝礼を浅野純氏(北星学園女子中学校・高等学校宗教主任)の司会により執り行い、その後1日目のプログラムに続いて学校報告を行った。はじめに新井秀氏(前東北学院高等学校校長)による「学校紹介」では、氏の自己紹介から始まり、キリスト教学校としての具体的な取り組みについて伺った。次に佐々木達也氏・渡辺幸太郎氏(尚絅学院中学校・高等学校教諭)両氏による「海外交流プログラム」について報告がなされた。特に姉妹校提携による交換留学の実情についての実践と課題について

向かった。道中、無数のトンネルを走り、新しく完成した横川ダムに見えつつ現地に到着した。予想以上に時間がかかり、滞在は30分のみという過酷な日程となったが、新校舎の木々ももりと、あらゆる所から差し込むまばゆい太陽光。山々の頂に、思わす近年話に上る熊の出没に東北、北海道各地の話題は尽きないものであった。

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

関西地区

「学び」と「成長」

新人教師研修会

2010年度関西地区新人教師研修会が、京都市の日本クリスチャンカレッジ・関西センター(ハウス)で10月23日(土)・24日(日)の2日間に行われて開催された。48名が参加し、新任は33名であった。研修テーマは、「イエスの生き方に倣う」キリスト教学校に求められる100年に向けて」で、高田淳史先生(清教学院中学校・高等学校教諭)が総論、松橋昭先生(神戸女学院中学校・高等学校教諭)が助

言されました。教員としての生活が始まり半年が経ち、生徒と向き合うことの楽しさや難しさ、そして深さや恐さを感じている時に参加させていただきました。参加するまでは、先生方の話を聞くことが中心の研修をイメージしていましたが、実際は粘土を用いての自己紹介から始まり、グループでの話し合いや全体での話し合いが多く行われており、積極的に発言する機会に恵まれていました。研修中は、キリスト教に関する事柄のみではなく、それぞれの先生方が抱えている迷いや悩み、想いについて意見交換や情報共有をしました。一つ一つの事柄について、多くの先生方の意見や考えを伺えた事は、私のこれから教師としての人生において糧になると確信しています。特に「叱る」と「怒る」の違いや「褒め」と「叱る」の違い、そして「伝える」と「押し付ける」の違いなどについて意見交換したことが心に残っています。熱い想いを抱えて

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

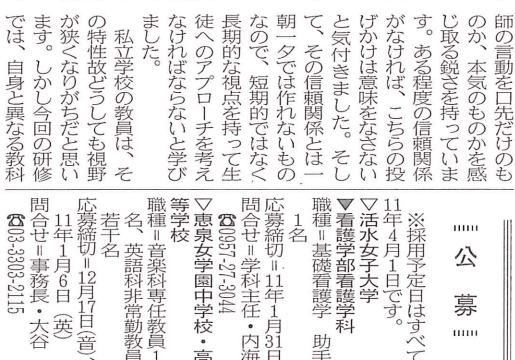
同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会



同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

同った。続いて最後のプログラム、全体会議は野田義成氏(尚絅学院理事・院長)の司会により、全者が滞りなく進み、佐々木栄氏(聖光学院高等学校教員)による開会挨拶にて一切の日程を終了した。終わりに、実りある会

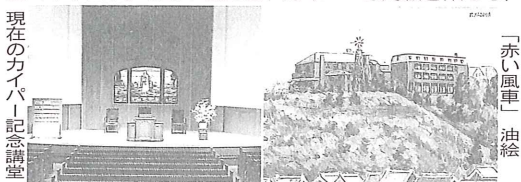
カイパー記念講堂のステンドグラス

フェリス女学院

フェリス女学院は、1870年、アメリカ改革派教会の婦人宣教師メアリー・キダーによって創立され、キリスト教信仰とその精神に基づいて女子教育にとりくみ、本年、創立140周年を迎えた。永い歴史を有する本学において「カイパー記念講堂のステンドグラス」は、関東大震災の復興の証であり、教育理念の象徴的な存在でもある。

明治期、濃い緑の窓枠に赤く塗られた壁の校舎と井戸水を汲み上げる風車が山手の小高い丘の上にくっきりと立つ風景は、横浜の人々の憧れの的となっていたという。大正期には生徒数が急速に増加し、高等教育をめざし体制整備を進めていたが、1923年関東大震災により校舎が倒壊・焼失、当時の校長、ジェニー・カイパーが校舎の下敷きとなり殉職。創立から50年以上かけて築き上げてきたものが、一瞬のうちに灰燼に帰し、学校再建は困難と判断されるほどの被害を被った。しかし、学校関係者の熱い思いがミッションを動かし、復興資金活動を展開、アメリカ改革派教会からの大きな援助に加え、国内でも同窓会・保護者・横浜市民有志による復興後援会や在校生と教職員との募金活動が行われ、1929年校舎が再建された。

新校舎の講堂は、震災で犠牲となったカイパー校長を記念し「カイパー記念講堂」と名付けられ、高さ150cm、幅245cmのステンドグラスが講堂中央に設置された。アメリカの婦人が、美術会社に制作させ寄贈したものである。当時の新聞には「150枚のガラスを鉛で継ぎ合せ、一面のガラスを作ったもので、光線により美しい特殊の色が現れる、新趣向の美術品」と報じられている。画題はマタイによる福音書18章12節の「迷える羊を救う神の愛」を表す子羊を抱くキリスト。その下部には、カイパーの殉職を悼んで、



「赤い風車」油絵
「彼女はその命を他者のために与えた」という内容の文字が刻まれている。ここに記された「For Others」が、本学のモットーである。この「For Others」は、誰かがはざりと語った言葉ではない。震災以前から、宣教師が生徒に人生の指針として示していたようだが、震災とその復興の経験が「For Others」を人々の胸に焼き付け、その精神を教育モットーとして結実させていったのである。

カイパー記念講堂は2002年に建て替えられたが、ステンドグラスは変わらず講堂正面を飾っている。中高の生徒は毎朝の礼拝で、学生は大切な式典で、ステンドグラスを目にする。見るものの心をとらえて離さない美術品であるとともに、「For Others」の精神を学生・生徒たちの心深くに訴えかけるものとなっている。

中山和子〈フェリス女学院資料室〉

わが校のシンボリック

豊かな庭に

大阪女学院

大阪女学院は大阪の都市部にあり、約1万2千坪のキャンパスに中学・高校・短期大学・大学の生徒・学生約2500人が通っています。小さな学校ですが、比較的緑の多い学校と言われています。

学院は、1945年6月1日、敗戦間際の大阪大空襲で、1904年この地に移転して以来の建物や樹木がほぼ完全に焼失しました。今日の学院の庭には、所狭しと木々が茂り、まるで深い森のたたずまいを感じるとまで言われます。全体としては、人の手が十分に入り、行き届いた美しい調和を醸し出している校庭ですが、今風の洗練された洋風庭園とはずいぶん趣を異にしているように思われます。

焦土と化した大阪の地で、建物の復旧に先立ち、木々を植える校庭の整備に心血を注いだ職員がいました。1932年から32年間本校で生物科の教員として勤めたM先生です。知り合いを通して、市内の各地から、時に自前トラックを雇ってまで樹木や庭石を集めました。朝から晩まで、なりふり構わず、数十年後の学院の校庭に思いを馳せながら、生徒とともに労した人の汗が染みこんでいます。また、学院をあげて更なる整備に努め、その維持管理に労力を惜しみませんでした。

正門を入ってすぐ南側に池と噴水のある一角があります。ここは、学院の中でもひととき緑が多い空間として、学生・生徒たちに親しまれてきました。1963年、それらの木々や草花の中に、憩いの場ふさわしく池と噴水が作られました。これらは当時の生徒たちの献金と労力奉仕によってできたものでした。

昨年夏に、創立125周年記念事業の一環として、その池周辺の整備が行われました。正門側から入ると、スロープ



を介して池に渡された広いデッキに通じます。このスペースは、池を挟んで生徒たちが集い、野外礼拝やちょっとした集いもできるようにと考えられました。雨の日にも行き来がしやすいように、砂利洗い出しの通路もできました。

また、池の東側に小さなせせらぎも生まれ、北から南に水が流れています。周囲にはおよそ30種類の草花が植えられました。生徒たちにも分かるように、一本一本に名札が付けられています。せせらぎにはホタルの幼虫が放流され、えさになるカワニナも入れられています。池には大小の鯉や亀たち、小魚やアメンボの姿、四季折々に数十種類の野鳥が訪れ、トンボや蝶も飛び交います。都会の片隅で繰り広げられる、小さな生き物たちの命のやりとりの様子を、生徒・学生たちは日常的に眺めて育ちます。そして、蜩の優しい光がそれらに加わり、学院の庭が、また一つ豊かなのです。

好田豊作〈大阪女学院副理事長〉

揃っていただく 「あたたかい昼食」 自由学園

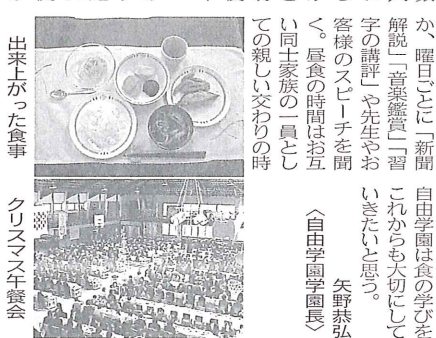
自由学園が創設された1921年当時、学校給食制度はまだ整っていない状態だった。創立者羽仁吉一・もと子夫妻は、同年2月号の『婦人』に「自由学園の創立」で賛成同志の募集を掲載した。その自由学園創立を告げる文の中で「めいめい」に弁当を持つて来るのでなく、「交代にその家族の一人が炊事に当たって、家族の食卓を調えることにします」と創立者は謳っている。クラス5、6人のグループを「家族」と呼ぶことも、開校前にすでに考えられていた。

26人の少女たちを迎えた開校式の翌日、生徒たちは家族毎に一人づつ出でて、指導者・先生に全員の昼食の調理を始めた。また、食費や食料が完成していきなかつたため、羽仁夫妻は早稲の居間と台所を生徒たちのために開放した。以来89年

の半数の生徒（20数人）が、全校3300人分の昼食を準備している。中等科1年生から学年に相応しい献立が考えられ、ご飯炊きや校内の木々の枝を切って用意された薪を使って炊いている、「キヤベツの海苔酢和え」のような簡単な料理から、揚げ物（鰻のフライ）のときは、300尾以上の魚をさばっている。や、旬の食材を使った献立まで、全員が協力して料理することを経験している。男子部でも11年前から、週に1日はあるが、高等科2年生が昼食づくりを始め、男子生徒も喜んで台所で腕を振っている。

4月の新生歓迎会や12月のクリスマス午宴会では、1クラスの生徒たちが中等科以上最高学年までの全校生徒・教職員約800人分の食事を作っている。教師も共に全員が揃って、あたたかい食事をいただくながら、連絡事項を聞き合うほか、曜日ごとに「新聞解説」「音楽鑑賞」「習字の講座」や先生やお客様のスピーチを聞く。昼食の時間はお互いの同士の家族の一員としての親しい交わりの時間である。

矢野恭弘〈自由学園学園長〉



出来上がった食卓 クリスマス午宴会



「キリストはこの家の主人…」各部の食堂の壁に掲示

※報告と予定」は5面
「公募」は6面に掲載して
あります。

――

編集
後記

記念式典、聖歌隊の合
唱に統てロゴマークと
作文・エッセイコンテス
ト

入選しない作品の中
も、キリスト教による
び感謝を表す文章、キ
スト教による価値観、
理観より悩み、問題の
心を考えるのも等キラ
ト教教育の成果を表す
品が沢山ある。しか
応募者、受賞者のほ
と全てが女性であるの
とぞでうか。(花島)